

## 大阪の落書き問題解決に関する要望

大阪商工会議所

近年大阪では道路や公園などの公共施設だけでなく、店舗などの民間施設も含め、街のいたるところに落書きが氾濫し、都市の美観が著しく損なわれている。落書きやゴミの不法投棄といった小さな秩序違反行為は様々な犯罪の呼び水となり、米国ロサンゼルス等では、落書きやゴミが集中している地域と重犯罪の集中している地域がほぼ一致することが立証されている。

この問題に悩まされている地元自治会や商店会等では、落書きの一斉消去活動を実施するなど問題解決に向け鋭意取り組んでいる。大阪で落書きの被害が最も激しいミナミ地域では、ミナミ活性化協議会の枠組みの中でも、関係団体が協力し問題解決に向け取り組んで一定の成果をあげている。しかしながら、落書き消去後に再度落書きをされるなど、落書き犯とのいたちごっこが続いており、根本的な課題の解決には至っていないのが現状である。

本年8月には、関西国際空港の第二滑走路がオープンし、世界陸上大会が開催されるなど、国内外から大阪を訪問する観光客が一層増加すると見込まれている。来訪者にも地元市民に対しても、美しく、安全で安心して過ごせるまち大阪を実現し、大阪に賑わいを創出するためには、落書き問題の解決が急がれるところである。

大阪市内から落書きを撲滅するため、抜本的な対策を講ずるよう、以下の通り要望する。

### 罰則付き落書き防止条例の制定、または関係条例の改正

全国の多くの都市にて、いわゆる「落書き防止条例」が制定されており、日本一の落書き多発地帯とまで言われる大阪の落書き被害一掃のため、大阪市において、落書きを禁止するための条例を制定、もしくは既存の条例に落書きを禁止する旨、明文化されたい。また落書き犯が判明した場合は、その施設の修復措置を命じられたい。

### 落書き消去活動への支援制度の創設

落書きの被害に悩む地域住民が、容易に落書き消去活動に取り組むことができるよう、活動資金の助成や資材の提供を通じて支援されたい。

### 公共場所への落書きに対する速やかな消去活動の実施

まちの美観を保つとともに、安全で安心して過ごせる大阪の実現のため、公園、道路などの公共場所への落書きを速やかに消去されたい。

以 上